

## 危機管理担当

### ○危機管理担当の対象事業一覧

- (1) 応急対策備蓄物資の整備・備蓄事務
- (2) 総合防災訓練事務
- (3) 安全安心まちづくり推進事業
- (4) 防災行政無線整備・運用・維持管理事務
- (5) 新たな防災の拠点整備事業
- (6) 国民保護計画の整備事業

# (1) 応急対策備蓄物資の整備・備蓄事務【事務事業評価結果】

平成24年度 事務事業評価シート

番号	8
----	---

事務事業名	応急対策備蓄物資の整備・備蓄事務		所管課	危機管理担当防災課
施策	412	災害発生時の対応力を高める	連絡先	3552
予算書名称	応急対策救助物資整備費			

## 1. 事業の目的・手段(具体的に、限定的に記入してください)

<b>【対象】 誰(何)を対象としているのか</b>
区内在住・在勤者等
<b>【目標】 この事業によって対象をどのような状態にしたいのか</b>
災害発生時における被災者の保護
<b>【手段】 どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容)</b>
「首都直下地震による被害想定(平成18年東京都公表)」等に基づいた備蓄物資の配備及び更新

## 2. 事業開始からこれまでの経過

事業年度	開始年度	昭和51年度	終了予定年度	なし	経過期間	36年
備蓄計画に基づいた、備蓄・管理(消費期限切れ等の入れ替え)を行っている。						

## 3. 予算・決算状況(金額の単位はすべて千円)

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	防災対策費	
23年度 歳出予算額	70,548	23年度 歳出決算額	A 63,454	23年度 執行率	89.9%	24年度 歳出 予算額	
23財源内訳 (決算)	国庫支出金 0	都支出金 0	その他 0	一般財源 63,454	計 63,454		89,033
受益者負担	無	負担内容			受益者負担合計		
担当職員数	2	年間仕事量(人工)		0.5	人コスト(常勤)	B	4,000
非常勤報酬 (決算)	0	他事業との按分(%)		0	人コスト(非常勤)	C	0
総コスト	A+B+C	67,454	前年度コスト		42,900	前年度比	24,554
補助金 *複数ある場合は代表的なもの (その他補助金は一覧に記載)	無	補助金名称					
	<input type="checkbox"/> 複数有り (補助金一覧に記載)	23年度 予算額		補助対象			
		23年度 実績額		算定基準・補助率			
		補助開始 年度		根拠法令			
委託の有無	無	委託費実績額		委託の概要			

4. これまでの実績

(1)実績をあらわす指標と実績値

指標名(指標の説明)	単位	年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
被害想定による避難者数(基準)	人	目標値				153,749
被害想定による要食糧数	食	実績値	462,000	462,000	462,000	
		目標値				
		実績値				

(2)事業の進捗分析

目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析(指標分析と事業実績の要因分析)

墨田区地域防災計画、東京都報告の被害想定人口を基準とした備蓄計画

5. 視点別の評価(担当者評価)

前年度評価

<b>(1)事業の必要性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	高い
①事業へのニーズはどのように変化しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	
②区が事業を実施すべき強い理由があるか		<input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 <input type="checkbox"/> 理由あり <input type="checkbox"/> 検討の余地有り	
③事業を休止・中止した場合の影響はどうか		<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中程度 <input type="checkbox"/> 小さい	
(1)判断理由	防災に対しての要望は増大しており、区が物資を備蓄する役割は大きい。		
<b>(2)事業の有効性・成果</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> どちらかといえば有効 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	上昇
①指標の実績値は向上しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	
②施策目標を達成するための効果的な手段であるか		<input type="checkbox"/> 最も効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適切 <input type="checkbox"/> 適切とはいえない	
(2)判断理由	備蓄物資の見直し、拡充を行っている。		
<b>(3)事業の効率性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> どちらかといえば効率的 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非効率	効率的
①関連・類似事業との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> 検討可能	
②事業にかかる経費は低減しているか		<input type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 増加	
③受益者負担は適正か		<input type="checkbox"/> 負担増困難 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
(3)判断理由	予算の範囲内で効率的な物資選定、購入が実施できている		
<b>(4)協働の可能性・現状</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば可能 <input checked="" type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	低い
①区民との協働実施を進めることが可能か		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能	
②民間への外部化(委託等)は可能か		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能	
③協働(委託・補助)相手先の実績向上に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 特に行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
(4)判断理由	現在の手法が最も望ましい。		
<b>(5)事業の課題</b>	東京都の被害想定の見直しに伴い、備蓄物資の品目の見直し及び備蓄量を検討を行う必要がある。		

6. 総合評価(課長評価)

<b>事務事業の方向性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する <input type="checkbox"/> 改善・効率化し継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上縮小・統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<b>判定理由</b>	東日本大震災以後、区民の防災対策への関心・要望は増大しており、今後も東京都の被害想定の見直しに合わせて、備蓄計画についても見直しを行っていく。
<b>改善・効率化・見直しの方向性</b>			
具体的な拡充・改善・効率化等の取り組み内容について(方向性・対象・手段等)			
備蓄物資は、保管場所の確保が困難な状況になりつつあり、事業者との物資等の優先供給に係る協定の締結を進め、備蓄の充実を図っていく。			

## (1) 応急対策備蓄物資の整備・備蓄事務【区民行政評価結果】

### ■ 複数の委員の指摘意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- ◎ 目標について、「応急」の定義を3日分の備蓄を行うことと明記した上で、1日を区、2・3日を都が行うという、区の責任範囲を目標値の中に明記しなければ、目標値や効率性が理解できない。
- ◎ 区の災害備蓄の目標および実績値の46万食の根拠である被害想定は被害者数15万人と備蓄される3食分が具体的に何を指すのか、区民にわかりやすくするために、「何人を何時間持ちこたえさせるか」という数値があると良い。合わせて、「応急」後に備えて、区民の備蓄を促すため、防災チラシ等で広報すると良い。
- ◎ 民間企業と連携して備蓄場所だけでなく、物資の備蓄でも連携体制が組めないだろうか。
- ◎ 備蓄数だけでなく、金額等予算の妥当性、毎年の更新金額について明確にすべきである。

#### 総合評価に関する指摘事項

- ◎ 備蓄品の適正管理について、何がどこにあるか、ホームページ等を活用して常に区民に周知を図るべきである。

### ■ 各項目についての個別意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- 備蓄物資の輸送や保管建屋の安全性、ガソリンの確保や訓練など、実際の災害時を想定して、物資の保管だけでなく、総合的に実現性のある備蓄事務に留意してもらいたい（例えば、危険度ランク別地域配分・搬送計画の策定、手段の確保）。
- 計画に基づき必要物資を確保するのであれば、民間委託も可能となるはずである。
- 墨田区の特殊事情などを考慮して都のシミュレーションのみならず、独自の手段も工夫して取り入れられたら、より区民の理解も深まる。
- 実際の備蓄数を記載して、必要数と比較を行わないと、指標としての意義がない。
- 目標に対する充足率などを指標にしても良い。
- 物資の金額が妥当な単価であるのか、わかりにくい。

#### 総合評価に関する指摘事項

- 総合評価として、備蓄備品の見直しを行い、事業を拡充するとあるが、「何人・何日分」の備蓄なのか具体的な数字がほしい。
- 新型インフルエンザ等パンデミックも含めた区全体の危機管理・備品の整備・備蓄の視点が望まれる。
- 5. 視点別の評価（4）協働の可能性・現状では「実施困難」とされているが、6. 総合評価 改善・効率化・見直しの方向性では、「事業者との物資等の優先供給に係る協定の締結を進め、備蓄の充実を図っていく」と記述されており、整合性に欠ける。

## (2) 総合防災訓練事務【事務事業評価結果】

平成24年度 事務事業評価シート

番号 16

事務事業名	総合防災訓練事務		所管課	危機管理担当防災課
施策	412	災害発生時の対応力を高める	連絡先	3556
予算書名称	総合防災訓練事務			

### 1. 事業の目的・手段(具体的に、限定的に記入してください)

<b>【対象】誰(何)を対象としているのか</b>
区、各防災関係機関(消防、警察等)及び地域住民
<b>【目標】この事業によって対象をどのような状態にしたいのか</b>
発災時に地域住民への被害を最小限に抑える。
<b>【手段】どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容)</b>
実効性のある防災訓練を実施し、防災技術の向上と意識の高揚を図る。

### 2. 事業開始からこれまでの経過

事業年度	開始年度	昭和55年度	終了予定年度	なし	経過期間	32年
災害対策基本法第48条、昭和55年度から毎年定期的実施している。 昭和63年度から荒川河川敷等で実施してきた。(平成6・8・12年度は錦糸公園、平成7年度は東白鬚公園において実施した。) 平成19年度からは墨田五丁目運動広場等で実施している。						

### 3. 予算・決算状況(金額の単位はすべて千円)

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	防災対策費	
23年度歳出予算額	11,159	23年度歳出決算額	A 10,349	23年度執行率	92.7%	24年度歳出予算額	11,350
23財源内訳(決算)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源	計		
	0	0	0	10,349	10,349		
受益者負担	無	負担内容			受益者負担合計		
担当職員数	5	年間仕事量(人工)		0.8	人コスト(常勤)	B	6,400
非常勤報酬(決算)	0	他事業との按分(%)		0	人コスト(非常勤)	C	0
総コスト	A+B+C	16,749	前年度コスト		13,699	前年度比	3,050
補助金 *複数ある場合は代表的なもの(その他補助金は一覧に記載)	無	補助金名称					
	<input type="checkbox"/> 複数有り(補助金一覧に記載)	23年度予算額	0	補助対象			
		23年度実績額	0	算定基準・補助率			
		補助開始年度		根拠法令			
委託の有無	有	委託費実績額	4,670	委託の概要	会場設営業務、防災講演会委託、模擬患者用特殊メイク、ポスター作成等		

4. これまでの実績

(1)実績をあらわす指標と実績値

指標名(指標の説明)	単位	年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
参加人数	人	目標値				2,000
		実績値	1,562	1,715	1,913	
		目標値				
		実績値				

(2)事業の進捗分析

目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析(指標分析と事業実績の要因分析)

本訓練の実施により、地域防災計画の習熟並びに、区、各防災関係機関(消防、警察等)及び地域住民相互の連携による緊密な協力態勢の確立・強化を図っている。

5. 視点別の評価(担当者評価)

5. 視点別の評価(担当者評価)				前年度評価
<b>(1)事業の必要性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		高い
①事業へのニーズはどのように変化しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少		
②区が事業を実施すべき強い理由があるか		<input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 <input type="checkbox"/> 理由あり <input type="checkbox"/> 検討の余地有り		
③事業を休止・中止した場合の影響はどうか		<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中程度 <input type="checkbox"/> 小さい		
(1)判断理由	防災対策に関する区民の関心は高く、訓練の必要は広く認識されている。			
<b>(2)事業の有効性・成果</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> どちらかといえば有効 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		上昇
①指標の実績値は向上しているか		<input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少		
②施策目標を達成するための効果的な手段であるか		<input type="checkbox"/> 最も効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適切 <input type="checkbox"/> 適切とはいえない		
(2)判断理由	区の防災対策等を広く周知する機会として必要。			
<b>(3)事業の効率性</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば効率的 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非効率		効率的
①関連・類似事業との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> 検討可能		
②事業にかかる経費は低減しているか		<input type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 増加		
③受益者負担は適正か		<input type="checkbox"/> 負担増困難 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
(3)判断理由	関係機関との訓練で一元的な連携を強化できる。			
<b>(4)協働の可能性・現状</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば可能 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		高い
①区民との協働実施を進めることが可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能		
②民間への外部化(委託等)は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能		
③協働(委託・補助)相手先の実績向上に向けた取組み		<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 特に行っていない <input type="checkbox"/> 非該当		
(4)判断理由	実施済み。			
<b>(5)事業の課題</b>	実施会場、実施方法の検討。			

6. 総合評価(課長評価)

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する	判定理由	区民への防災意識の啓発、災害対応力向上に向け、関係機関と協働して更なる内容の充実を図る。
	<input type="checkbox"/> 改善・効率化し継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上縮小・統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		
<b>改善・効率化・見直しの方向性</b>			
具体的な拡充・改善・効率化等の取り組み内容について(方向性・対象・手段等)			
内容の充実を図り、多くの区民の参加につなげるため、部分委託の拡充も含めて実施方法を検討していく。			

## (2) 総合防災訓練事務【区民行政評価結果】

### ■ 複数の委員の指摘意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- ◎ 墨田区全体として防災訓練をより効果のあるものにするため、現在、別の事業として行われている総合防災訓練と町会単位の個別の防災訓練、連合町会の中規模訓練を連携し、地域や時期、訓練内容を再検討のうえ、防災関連機関や区内の消火隊など関係者だけでなく、区民の多くが参加できる総合的な防災訓練として実施していただきたい。
- ◎ 実績の指標は、参加人数ではなく、事業の効果を評価できる指標が必要である。防災技術の向上、意識の高揚等手段に見合う指標の設定、アンケート実施による参加者意識を測るもの、防災活動の結果等、どれほどの被害が予防できるかを示す数値等を検討されたい。

### ■ 各項目についての個別意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- 実際の災害は、各地域での地域住民の協力のもとに行われると予想されるので、同じ箇所に集合しての訓練より、各エリアごとに集合し、本部への伝達や、報告機能などを想定した訓練が必要である。
- 総合防災訓練は、墨田区の北端で行われているが、南部地域もしくは全体のエリアについて、アメリカの防災活動（ShakeOut インターネットを利用した参加登録型訓練）に近いイメージで、広域でやる視点がほしい。
- 防災訓練の参加者数を目標にするのであれば、参加者を増加させる方法（広報などを通じて）を明記すべきである。
- 防災技術の向上と意識向上の内容について、より詳細な内容を明記すべきである。
- 手段としての内容に見合うコストであるのかの判断が困難である。消防・警察は都の事務で防災訓練に伴う直接コストではない。委託内容ごとに成果のレビューが必要である。

#### 視点別の評価に関する指摘

- アメリカの防災活動はかなり高度であると聞くので、参考にすると良い。
- 訓練の必要性は理解できるが、区としての事業のミッションがわかりにくい。
- 他自治体では、メールによる情報提供を行い、被害の内容や避難の必要性を提供しているところもあるので、訓練を行うには、情報の提供・伝達訓練や被災情報の収集・集約訓練などに広げていく事を検討すべきである。

#### 総合評価に関する指摘事項

- チェック&レビューの情報を HP で公開してほしい。
- 参加者が増加している原因が東日本大震災の影響を受けていることも考えられる。
- さらに参加者を増加させるための取り組みがあっても良い。



### (3) 安全安心まちづくり推進事業【事務事業評価結果】

平成24年度 事務事業評価シート

番号	1
----	---

事務事業名	安全安心まちづくり推進事業		所管課	安全支援課
施策	413	地域の防犯力を高める	連絡先	3562
予算書名称	安全・安心まちづくり			

#### 1. 事業の目的・手段(具体的に、限定的に記入してください)

<b>【対象】誰(何)を対象としているのか</b>
区民等
<b>【目標】この事業によって対象をどのような状態にしたいのか</b>
様々な事業によって、区民自身の防犯力の向上を図る。また、区内のパトロール体制を強化し、犯罪発生抑制と区民の体感治安の向上を図る。これらの事業により、全ての区民が安全で安心な環境の中で生活する状態を目標とする。
<b>【手段】どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容)</b>
1 地域防犯活動の中心となる人材育成のため、地域防犯リーダー養成講座・実践講座の実施 2 地域が持つ犯罪発生要因を分析する力を養うため、地域安全マップを町会・自治会で作成 3 防犯パトロール用品を町会・自治会に配布 4 地域防犯活動を一層推進するため防犯協会等の事業を補助 5 青色防犯パトロールカー2台による区内巡回パトロールの実施

#### 2. 事業開始からこれまでの経過

事業年度	開始年度	平成18年度	終了予定年度	なし	経過期間	6年間
防犯パトロール用品は平成18年と平成22年に全町会・自治会へ支給 防犯パトロールカーは18年1月に1台増やし2台体制に。19年度まで巡回時間は午後10時から翌日午前6時まで(2台) 20・21年度は午後3時から午後11時まで(2台)22年度から1台は午後3時～午後11時 もう1台は午後5時～翌日午前2時までに変更 地域防犯リーダー養成講座は平成18年度に町会・自治会からの推薦者を対象に始め、19年度からはPTAと青少年育成委員会からの推薦者を加え実施 さらに20年度から実践講座を開催 安全マップは18年度から毎年5町会・自治会を選定し実施						

#### 3. 予算・決算状況(金額の単位はすべて千円)

科目	款	区民生活費	項	区民活動推進費	目	区民活動推進総務費	
23年度歳出予算額	23,475	23年度歳出決算額	A 22,751	23年度執行率	96.9%	24年度歳出予算額	25,532
23財源内訳(決算)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源	計		
	0	0	0	22,751	22,751		
受益者負担	無	負担内容			受益者負担合計		
担当職員数	2	年間仕事量(人工)		0.5	人コスト(常勤)	B	4,000
非常勤報酬(決算)	0	他事業との按分(%)		0	人コスト(非常勤)	C	0
総コスト	A+B+C	26,751	前年度コスト		36,218	前年度比	▲ 9,467
補助金 *複数ある場合は代表的なもの(その他補助金は一覧に記載)	有	補助金名称					
	<input checked="" type="checkbox"/> 複数有り(補助金一覧に記載)	23年度予算額	0	補助対象			
		23年度実績額	0	算定基準・補助率			
		補助開始年度		根拠法令			
委託の有無	有	委託費実績額	18,795	委託の概要	防犯パトロールの警備委託		



4. これまでの実績

(1)実績をあらわす指標と実績値

指標名(指標の説明)	単位	年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
刑法犯の認知件数	件	目標値				
		実績値	4,412	4,000	3,947	
防犯パトロールを実施している町会・自治会の割合	%	目標値				
		実績値	96	95	95	

(2)事業の進捗分析

目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析(指標分析と事業実績の要因分析)

安全安心なまちづくりは、区や消防・警察に頼るだけでなく、地域の安全は区民自らが守るという意識の醸成が必要である。そのための事業を実施した結果、22年度には、最終目標であった刑法犯認知件数17年度比20%減を達成した。今後は30%減を目指して事業を継続する。また、東京スカイツリー開業後の来街者の増加に伴い、体感治安の悪化が懸念されており、そのための対策を実施する。

5. 視点別の評価(担当者評価)

5. 視点別の評価(担当者評価)				前年度評価
<b>(1)事業の必要性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		高い
①事業へのニーズはどのように変化しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少		
②区が事業を実施すべき強い理由があるか		<input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 <input type="checkbox"/> 理由あり <input type="checkbox"/> 検討の余地有り		
③事業を休止・中止した場合の影響はどうか		<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中程度 <input type="checkbox"/> 小さい		
(1)判断理由	区民の体感治安の安定・向上のため、事業を継続していく必要がある			
<b>(2)事業の有効性・成果</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> どちらかといえば有効 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		上昇
①指標の実績値は向上しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少		
②施策目標を達成するための効果的な手段であるか		<input type="checkbox"/> 最も効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適切 <input type="checkbox"/> 適切とはいえない		
(2)判断理由	毎年、犯罪認知件数は低減しており、さらなる目標達成を目指している			
<b>(3)事業の効率性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> どちらかといえば効率的 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非効率		効率的
①関連・類似事業との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> 検討可能		
②事業にかかる経費は低減しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 増加		
③受益者負担は適正か		<input type="checkbox"/> 負担増困難 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
(3)判断理由	予算の節減に努力している			
<b>(4)協働の可能性・現状</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば可能 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		高い
①区民との協働実施を進めることが可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能		
②民間への外部化(委託等)は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能		
③協働(委託・補助)相手先の実績向上に向けた取組み		<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 特に行っていない <input type="checkbox"/> 非該当		
(4)判断理由	協働を一層推進する			
<b>(5)事業の課題</b>	1. 区民に対する養成講座受講者数は受講すべき町会・自治会の役職者は既に受講済みのため、減少傾向にある。2. 防犯パトロールを実施している町会・自治会の割合は頭打ちの傾向にあるが、参加町会增加のため啓発努力を続ける。			

6. 総合評価(課長評価)

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する	判定理由	全ての区民が安心して暮らせるまちづくりを進めていくため、一層の努力を続けていく。
	<input type="checkbox"/> 改善・効率化し継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上縮小・統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		
改善・効率化・見直しの方向性			
防犯リーダー受講者及び防犯パトロール参加者の裾野の拡大を図る必要がある。			

補助金一覧シート

事務事業名	安全安心まちづくり推進事業	所管課	安全支援課
-------	---------------	-----	-------

①

補助金名称		墨田区防犯協会補助金	
23年度 予算額	200	補助対象	本所防犯協会
23年度 実績額	200	算定基準・ 補助率	
補助開始 年度	18年度	根拠法令	墨田区防犯協会補助金交付要綱

②

補助金名称		墨田区防犯協会補助金	
23年度 予算額	200	補助対象	向島防犯協会
23年度 実績額	200	算定基準・ 補助率	
補助開始 年度	18年度	根拠法令	墨田区防犯協会補助金交付要綱

③

補助金名称			
23年度 予算額	150	補助対象	錦糸町地区暴力追放委員会
23年度 実績額	150	算定基準・ 補助率	
補助開始 年度	21年度	根拠法令	墨田区防犯協会補助金交付要綱

④

補助金名称			
23年度 予算額	0	補助対象	
23年度 実績額	0	算定基準・ 補助率	
補助開始 年度	年度	根拠法令	

⑤

補助金名称			
23年度 予算額	0	補助対象	
23年度 実績額	0	算定基準・ 補助率	
補助開始 年度	年度	根拠法令	

### (3) 安全安心まちづくり推進事業【区民行政評価結果】

#### ■ 複数の委員の指摘意見

##### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- ◎ 指標に用いられている「防犯パトロール」はほとんどの町会で行っているため、区民の防犯力を表すような他の指標が望ましい。
- ◎ 他区との比較に基づき、墨田区としての目標を設定し、それに対する実績を見るべきである。

#### ■ 各項目についての個別意見

##### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- 防犯パトロールは、地元で回れない夜間などの防犯に有効である。
- 防犯について緊急性が高いため、安全マップの作成率を指標とすると良い。
- パトロールの警備委託の割合が大きいが、これで防犯力の向上になるか。区としての事業のアウトカムを考える必要がある。

##### 視点別の評価に関する指摘事項

- マンションの増加により、町会の住民構成に変化がある。特に、賃貸マンションに居住する住民に関する情報は町会でもよく把握しておく必要がある。
- 事業の効率性を区民一人当たりの発生件数を基に試算すると、全国に比べて、犯罪の発生率が高い事実もあり、指標や目標に反映すべきである。
- 目標の基本計画で、平成27年の犯罪件数を3500件と想定しているが、犯罪件数だけではわからないので、発生件数を相対的な安全度で計る指標を使った方が良い。
- 犯罪を減らすためには、実証研究をしている大学と連携して、町会や安全マップの評価について確認した方が良い。
- 防犯パトロール用品については、支給を受けた者は一時的に意欲が向上するものの、こうした刺激は頭打ちになる傾向があり、その効果はわかりづらい。

##### 総合評価に関する指摘事項

- 犯罪抑制効果を高めると考えられている方策（例、青色防犯灯）の導入・普及の検討が望まれる。
- スカイツリー開業後の体感治安悪化への対策を具体的に示してほしい。
- 防犯パトロールの効果を区民に周知していく必要がある。
- 防犯パトロールの警備委託の有効性評価手法を開発する必要がある。

## (4) 防災行政無線整備・運用・維持管理事務【事務事業評価結果】

平成24年度 事務事業評価シート

番号	3
----	---

<b>事務事業名</b>	防災行政無線整備・運用・維持管理事務	<b>所管課</b>	防災課
<b>施策</b>	412 災害発生時の対応力を高める	<b>連絡先</b>	3552
<b>予算書名称</b>	防災情報システムの運用経費		

### 1. 事業の目的・手段(具体的に、限定的に記入してください)

<b>【対象】 誰(何)を対象としているのか</b>
区・区民・職員・各防災関係機関(消防、警察等)及び区内不特定滞在者
<b>【目標】 この事業によって対象をどのような状態にしたいのか</b>
災害発生時の迅速かつ的確な被害状況把握、及び災害対策本部からの発令事項の伝達手段確保による被害の最小化
<b>【手段】 どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容)</b>
地域防災無線の適正な維持管理・運用を行うとともに、災害時等に迅速かつ正確な情報連絡体制の確立を図るために、無線交信訓練を行う。

### 2. 事業開始からこれまでの経過

<b>事業年度</b>	<b>開始年度</b>	昭和55年	<b>終了予定年度</b>		<b>経過期間</b>	32年
災害時及び平常時の情報伝達・収集のための情報システムの整備・運用・維持管理が、適正な事業費により行われている。						

### 3. 予算・決算状況(金額の単位はすべて千円)

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	防災対策費	
23年度歳出予算額	128,838	23年度歳出決算額	A 128,600	23年度執行率	99.8%	24年度歳出予算額	155,422
23財源内訳(決算)	国庫支出金 0	都支出金 0	その他 0	一般財源 128,600	計 128,600		
受益者負担	無	負担内容			受益者負担合計		
担当職員数	2	年間仕事量(人工)	0.5	人コスト(常勤)	B	4,000	
非常勤報酬(決算)	0	他事業との按分(%)	0	人コスト(非常勤)	C	0	
総コスト	A+B+C 132,600		前年度コスト	126,828	前年度比	5,772	
補助金 *複数ある場合は代表的なもの(その他補助金は一覧に記載)	無	補助金名称					
	<input type="checkbox"/> 複数有り(補助金一覧に記載)	23年度予算額	0	補助対象			
		23年度実績額	0	算定基準・補助率			
		補助開始年度		根拠法令			
委託の有無	無	委託費実績額	0	委託の概要			

4. これまでの実績

(1)実績をあらわす指標と実績値

指標名(指標の説明)	単位	年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
墨田区防災行政無線システム(固定系・地域系・移動系・映像系)	1式	目標値				1
		実績値	1	1	1	
		目標値				
		実績値				

(2)事業の進捗分析

目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析(指標分析と事業実績の要因分析)

防災無線については区内学校、保育園、防災関係機関等に設置済みであるが、区内在住者への通信手段が不足している。対策として、24年度に固定系無線子局増設、防災ラジオの配布を行う。

5. 視点別の評価(担当者評価)

前年度評価

<b>(1)事業の必要性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	高い
①事業へのニーズはどのように変化しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	
②区が事業を実施すべき強い理由があるか		<input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 <input type="checkbox"/> 理由あり <input type="checkbox"/> 検討の余地有り	
③事業を休止・中止した場合の影響はどうか		<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中程度 <input type="checkbox"/> 小さい	
(1)判断理由	災害時において、区民への防災情報の提供が必要不可欠であるため		
<b>(2)事業の有効性・成果</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 上昇 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば有効 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	上昇
①指標の実績値は向上しているか		<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	
②施策目標を達成するための効果的な手段であるか		<input checked="" type="checkbox"/> 最も効果的 <input type="checkbox"/> 概ね適切 <input type="checkbox"/> 適切とはいえない	
(2)判断理由	防災関係機関、避難所、病院等に防災無線を設置済みであるため。		
<b>(3)事業の効率性</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば効率的 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非効率	効率的
①関連・類似事業との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> 検討可能	
②事業にかかる経費は低減しているか		<input type="checkbox"/> 低減 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 増加	
③受益者負担は適正か		<input checked="" type="checkbox"/> 負担増困難 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input type="checkbox"/> 非該当	
(3)判断理由	防災無線の保守点検費用等に大きな増減がないため。		
<b>(4)協働の可能性・現状</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば可能 <input type="checkbox"/> 低い <input checked="" type="checkbox"/> ない	高い
①区民との協働実施を進めることが可能か		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能	
②民間への外部化(委託等)は可能か		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能	
③協働(委託・補助)相手先の実績向上に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 特に行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
(4)判断理由	無線設備の運営・維持管理において、専門的な知識・技術を要するため。		
<b>(5)事業の課題</b>	防災無線機器の一部の老朽化が著しく。交換部品の製造中止等により、修理が困難な状況である。		

6. 総合評価(課長評価)

<b>事務事業の方向性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 拡充する <input type="checkbox"/> 改善・効率化し継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上縮小・統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<b>判定理由</b> 災害時には、情報収集・伝達手段の確保が大切であり、災害時の備えとして、今後も整備充実が必要である。

## (4) 防災行政無線整備・運用・維持管理事務【区民行政評価結果】

### ■ 複数の委員の指摘意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- ◎ 事業の成果を示す指標として、システム一式という数字は意味がない。
- ◎ システムを設置して、防災能力がどれほど増強されるのか、無線を受信出来る人数や範囲、また、防災無線の整備運用、維持管理、情報連絡体制等の実体を指標とすると良い。
- ◎ 防災無線は都市化して密閉された建物では効果が限定され、対策が必要である。
- ◎ 高価な専用の無線帯を使っているため、効率性を高めるため、災害時以外でも利用促進すべきである。
- ◎ 1億3千万円もの費用を整備・運用・維持管理に要している。他システムとの比較を行うなど、適正といえる根拠を示すべきである。
- ◎ 機器のメンテナンス・維持管理を適切に実施できる仕組みと、その成果を図る指標の設定が必要である。

#### 総合評価に関する指摘事項

- ◎ 今後の運用面など、情報の発信源として最適な手段を検討する委員会を立ち上げ、区が積極的に情報収集していくことが必要である。
- ◎ 安価な無線回線は、実際の災害時に公共性を失う可能性もある。機材の経過年数や耐久性、コストなどを総合的に考え、有事の際にも十分耐えられる対応を図っておくべきである。

### ■ 各項目についての個別意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- 手段であげられている情報連絡体制の確立について、実施状況が不明である。実施しないなら手段に書くべきではなく、必要なら指標に書くべきである。
- 防災ラジオの配布は、本事業の目的に見合っているか、疑問である。
- 区民に、防災無線の存在、必要性などについてどのように認識されているか、データがあるならば、活用しているか疑問である。

#### 視点別の評価に関する指摘事項

- 民間活力により、適切な形にならないか検討しても良い。
- 経費は「横ばい」とあるが、技術は進歩しているので、システムを拡充しても、コストは低減できる可能性はある。
- 事業の課題について、(老朽化などにより) 修理が困難な状況であるならば、事業の全体を見直していく必要がある。

- 常時利用している通信方法と統合するなどの手段も検討すべきである。
- 防災訓練プログラムと連携した有効性のレビューが必要となる（「総合防災訓練事務」参照）。

#### 総合評価に関する指摘事項

- 他のメディア（携帯・衛星無線）も検討すべきである。
- アンケート等を実施し、防災行政無線が現在役立っているのか、有事の際に役立つのかを検証すべきである。
- 今後拡充することになっているが、抜本的に見直しをするべき時期でないか。
- 老朽化、デジタル化対応が遅れている感があり、不安である。



## (5) 新たな防災の拠点整備事業【事務事業評価結果】

平成24年度 事務事業評価シート

番号	21
----	----

事務事業名	新たな防災の拠点整備事業(実施設計)		所管課	防災課
施策	412	災害発生時の対応力を高める	連絡先	3554
予算書名称	(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 防災対策費			

### 1. 事業の目的・手段(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか
区・区民・職員・各防災関係機関(消防、警察等)及び区内来街者
【目標】 この事業によって対象をどのような状態にしたいのか
災害発生時の迅速かつ的確な被害状況把握、及び災害対策本部からの発令事項の伝達手段確保による被害の最小化
【手段】 どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容)
東京スカイツリー周辺を新たな防災の拠点(「タワー危機管理ベース」という。)として位置付け、高所カメラの設置、防災備蓄倉庫の整備、防災行政無線網の強化、防災活動スペースの整備等を行い、災害対応力や情報収集能力の向上を図る。

### 2. 事業開始からこれまでの経過

事業年度	開始年度	平成22年度	終了予定年度	平成23年度	経過期間	2年
平成22年度 実施設計						

### 3. 予算・決算状況(金額の単位はすべて千円)

科目	款	項	目		
23年度 歳出予算額	220,000	23年度 歳出決算額	A 214,292	23年度 執行率	97.4%
23財源内訳 (決算)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源	計
	79,353	0		134,939	214,292
受益者負担	無	負担内容		受益者負担合計	
担当職員数	3	年間仕事量(人工)	0.5	人コスト(常勤)	B 4,000
非常勤報酬 (決算)	0	他事業との按分(%)	0	人コスト(非常勤)	C 0
総コスト	A+B+C 218,292		前年度コスト	13,339	前年度比 204,953
補助金 *複数ある場合は代表的なもの(その他補助金は一覧に記載)	無	補助金名称		補助対象	
	<input type="checkbox"/> 複数有り(補助金一覧に記載)	23年度 予算額		算定基準・補助率	
		23年度 実績額		根拠法令	
		補助開始年度			
委託の有無	無	委託費実績額	0	委託の概要	工事総合調整管理

4. これまでの実績

(1)実績をあらわす指標と実績値

指標名(指標の説明)	単位	年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
設計		目標値				
		実績値		1		
設置工事		目標値				
		実績値			1	

(2)事業の進捗分析

目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析(指標分析と事業実績の要因分析)

平成22年度に実施設計、平成23年度に整備を完了し、平成24年度から運用を開始した。

5. 視点別の評価(担当者評価)

			前年度評価
<b>(1)事業の必要性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	高い
①事業へのニーズはどのように変化しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	
②区が事業を実施すべき強い理由があるか		<input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 <input type="checkbox"/> 理由あり <input type="checkbox"/> 検討の余地有り	
③事業を休止・中止した場合の影響はどうか		<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中程度 <input type="checkbox"/> 小さい	
(1)判断理由	震災の影響により、区民の安全安心に係る行政への期待が高まっている。		
<b>(2)事業の有効性・成果</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> どちらかといえば有効 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	上昇
①指標の実績値は向上しているか		<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少	
②施策目標を達成するための効果的な手段であるか		<input type="checkbox"/> 最も効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適切 <input type="checkbox"/> 適切とはいえない	
(2)判断理由	災害情報収集力の強化、帰宅困難者対策の充実等の需要に応える施設である。		
<b>(3)事業の効率性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> どちらかといえば効率的 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非効率	効率的
①関連・類似事業との統合は可能か		<input type="checkbox"/> できない <input checked="" type="checkbox"/> 検討可能	
②事業にかかる経費は低減しているか		<input type="checkbox"/> 低減 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 増加	
③受益者負担は適正か		<input type="checkbox"/> 負担増困難 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
(3)判断理由	既存のカメラとの競合部分の検討及び外部機関への画像提供		
<b>(4)協働の可能性・現状</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば可能 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない	高い
①区民との協働実施を進めることが可能か		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能	
②民間への外部化(委託等)は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済み <input type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能	
③協働(委託・補助)相手先の実績向上に向けた取組み		<input checked="" type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 特に行っていない <input type="checkbox"/> 非該当	
(4)判断理由	スカイツリー設置・運営関連事業者の協力による施設の設置、運用を行った。		
<b>(5)事業の課題</b>	高所カメラ、備蓄倉庫等の設置スペースの継続的運用及び防災関係機関との連携		

6. 総合評価(課長評価)

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充する <input type="checkbox"/> 改善・効率化し継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しの上縮小・統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	判定理由	区の中央部にある立地を活かし、新たな災害時の拠点として活用していく。
	<b>改善・効率化・見直しの方向性</b> 具体的な拡充・改善・効率化等の取り組み内容について(方向性・対象・手段等) 既存高所カメラについては、当面現状維持とするが、機器の更新時期に合わせて配置場所の検討を行っていく。		

## (5) 新たな防災の拠点整備事業【区民行政評価結果】

### ■ 複数の委員の指摘意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- ◎ 防災のためのシステム設置と運用は、講演会や講習会など、行政のすべき責任範囲を明確にした上で、民間が優れているものは、民間委託を拡大したほうが良い。
- ◎ 実績値の指標として、設計、設置では評価できない。この事業で災害時の対応力にどのくらい改善ができたのか、防災力が増えたのかの数値を載せてほしい。
- ◎ 防災拠点整備の整備が目的であるなら、計画（設計）との比較で、達成率を指標とすることができる。

#### 総合評価に関する指摘事項

- ◎ 区全体の防災拠点のビジョンがほしい。区全体での防災拠点はどのような機能を有すべきかを検討し、スカイツリーだけでなく3カ所ほど防災準拠点として整備すべきでないか。
- ◎ スカイツリーの高所カメラの防災効果が高いことから、総合評価にカメラを利用して行う防災対策について記載したら良い。
- ◎ 防災行政無線に加えて、映像の効果も事務事業評価に記載し、区民にアピールすべきである。

### ■ 各項目についての個別意見

#### 視点別の評価に関する指摘

- 運用の方法については、防災機能を備えたスカイツリーを広く周知させるためにも、訓練、セミナー、パネルディスカッションなどの行事を行っていくことが、効果としてつながっていく。
- 都の防災拠点とどのように連携しているのか、よく分からない。

#### 総合評価に関する指摘事項

- 防犯カメラの話のみならず、全体的な運用面での方向性を把握したい。
- ホームページを通してスカイツリーカメラの情報を区民に提供する方法を検討すべきである。
- 危機管理ベースとして、本庁舎防災拠点との連携による有効性を向上させるための効果の測定・評価が望まれる。

## (6) 国民保護計画の整備事業【事務事業評価結果】

平成24年度 事務事業評価シート

番号	1
----	---

事務事業名	国民保護計画の整備事業		所管課	安全支援課
施策	412	災害発生時の対応力を高める	連絡先	3563
予算書名称	国民保護対策経費			

### 1. 事業の目的・手段(具体的に、限定的に記入してください)

<b>【対象】 誰(何)を対象としているのか</b>
職員及び区民
<b>【目標】 この事業によって対象をどのような状態にしたいのか</b>
職員及び区民が、有事の場合に国民保護計画の想定どおりの迅速、的確な行動をとることができる
<b>【手段】 どのような方法で目標を達成するのか(具体的な事業内容)</b>
1 墨田区国民保護協議会・幹事会を開催し、国民保護対策の整備を図る 2 区民向け啓発用パンフレットを作成・配布し、国民保護計画への理解・普及を図る

### 2. 事業開始からこれまでの経過

事業年度	開始年度	平成17年度	終了予定年度	なし	経過期間	7年間
平成17年度: 墨田区国民保護協議会条例施行 18年2月第1回墨田区国民保護協議会実施 18年度: 協議会・幹事会各3回実施 墨田区国民保護計画策定 19年度: 協議会・幹事会各1回実施 墨田区職員国民保護マニュアル作成 啓発冊子「墨田区国民保護計画を作成しました」作成 特殊標章(旗・帽章等)作成 20年度: 啓発冊子「我が家の国民保護マニュアル」を作成し全戸配布 21年度: 「我が家の国民保護マニュアル」増刷 23年度: 「我が家の国民保護マニュアル」内容を一部改訂し増刷						

### 3. 予算・決算状況(金額の単位はすべて千円)

科目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	
23年度歳出予算額	1,218	23年度歳出決算額	A 779	23年度執行率	64.0%	24年度歳出予算額	
23財源内訳(決算)	国庫支出金 0	都支出金 0	その他 0	一般財源 779	計 779		1,478
受益者負担	無	負担内容		受益者負担合計			
担当職員数	1	年間仕事量(人工)	0.3	人コスト(常勤)	B	2,400	
非常勤報酬(決算)	0	他事業との按分(%)	0	人コスト(非常勤)	C	0	
総コスト	A+B+C	3,179	前年度コスト	3,890	前年度比	▲ 711	
補助金 *複数ある場合は代表的なもの(その他補助金は一覧に記載)	無	補助金名称					
	<input type="checkbox"/> 複数有り(補助金一覧に記載)	23年度予算額	0	補助対象			
		23年度実績額	0	算定基準・補助率			
		補助開始年度		根拠法令			
委託の有無	無	委託費実績額	0	委託の概要			

4. これまでの実績

(1)実績をあらわす指標と実績値

指標名(指標の説明)	単位	年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
墨田区国民保護協議会・幹事会開催回数	回	目標値	2	2	2	2
		実績値	0	2	2	
区民向け啓発パンフレット作成	冊	目標値	23,000	0	20,000	19,000
		実績値	23,000	0	20,000	

(2)事業の進捗分析

目標の達成に向けた事業の進捗状況とその分析(指標分析と事業実績の要因分析)

平成18年度末に「墨田区国民保護計画」を策定。19年度以降、今のところ、計画に大きな変更も生じず、統計数値の経年変化による修正に留まっている。区民向け啓発パンフレットは平成20年度に全戸配布、21年度は転入者分を増刷。22年度は在庫があったので増刷しなかったが、23年度に増刷した。

5. 視点別の評価(担当者評価)

				前年度評価
<b>(1)事業の必要性</b>	評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば必要 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		高い
①事業へのニーズはどのように変化しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少		
②区が事業を実施すべき強い理由があるか		<input checked="" type="checkbox"/> 強い理由 <input type="checkbox"/> 理由あり <input type="checkbox"/> 検討の余地有り		
③事業を休止・中止した場合の影響はどうか		<input checked="" type="checkbox"/> 大きい <input type="checkbox"/> 中程度 <input type="checkbox"/> 小さい		
(1)判断理由	国民保護対策の整備は区が主体的に取り組むべきものと考えます			
<b>(2)事業の有効性・成果</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 上昇 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば有効 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> ない		上昇
①指標の実績値は向上しているか		<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 減少		
②施策目標を達成するための効果的な手段であるか		<input type="checkbox"/> 最も効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適切 <input type="checkbox"/> 適切とはいえない		
(2)判断理由	理解・普及の度合いを測る目安がないが、やるべきことを実行している。			
<b>(3)事業の効率性</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば効率的 <input type="checkbox"/> 低い <input type="checkbox"/> 非効率		効率的
①関連・類似事業との統合は可能か		<input checked="" type="checkbox"/> できない <input type="checkbox"/> 検討可能		
②事業にかかる経費は低減しているか		<input type="checkbox"/> 低減 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 増加		
③受益者負担は適正か		<input type="checkbox"/> 負担増困難 <input type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
(3)判断理由	受益者負担を求めることは妥当ではない			
<b>(4)協働の可能性・現状</b>	評価結果	<input type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> どちらかといえば可能 <input type="checkbox"/> 低い <input checked="" type="checkbox"/> ない		低い
①区民との協働実施を進めることが可能か		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能		
②民間への外部化(委託等)は可能か		<input type="checkbox"/> 実施済み <input checked="" type="checkbox"/> 実施困難 <input type="checkbox"/> 検討可 <input type="checkbox"/> 実施可能		
③協働(委託・補助)相手先の実績向上に向けた取組み		<input type="checkbox"/> 行った <input type="checkbox"/> 特に行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
(4)判断理由	国民保護対策を民間等へ委託することは考えにくい			
<b>(5)事業の課題</b>	パンフレットの配布だけで、広く理解・普及を図ることには限界がある。			

6. 総合評価(課長評価)

事務事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充する	判定理由	ミサイル発射問題やスカイツリーを標的にしたテロ災害の問題等により、事業の必要性は高くなっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化し継続		
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続		
	<input type="checkbox"/> 見直しの上縮小・統合		
	<input type="checkbox"/> 休止		
	<input type="checkbox"/> 廃止		
<b>改善・効率化・見直しの方向性</b>			
パンフレット配布以外の方法について検討する。			

## (6) 国民保護計画の整備事業【区民行政評価結果】

### ■ 複数の委員の指摘意見

#### 視点別の評価に関する指摘事項

- ◎ 危機管理について、パンフレットの配布による周知のみならず、講演会や講習会なども行い、区民の認識を喚起してはどうか。
- ◎ 防災訓練等との統合を図ることも可能と思われる。

### ■ 各項目についての個別意見

#### 事業の目的・手段・実績（指標）に関する指摘事項

- 「テロ・武力攻撃」を明記すべきである。日本人の無関心層に対し、主題を明確にすることで、政策効果が高まる。
- 区の作成した「国民保護マニュアル」に、「国民保護計画」の趣旨が充分に書きこまれていないので、区民の理解が深まるよう明確に記載してほしい。
- 目標については、区の役割（初動対応の充実）を明らかにすべきである。
- 「国民保護計画」は平成18年度に制定済みであり、事業名については変更が必要である。
- 「区民保護対策の整備」＝「区民保護計画への理解・普及」に留まっているように思われる。区の施策として実施可能な手段は他にないのか（例えば、有事に身近なところで必要な用品等の備え付け）。また、協議会・幹事会でどのような検討が行われているのか、HP等で議事録が公表されていない現状の改善が望まれる。

#### 視点別の評価に関する指摘

- 理解普及を図る目安について、区民の意識調査で調べた方が良い。
- 点字の冊子があると良い。
- 「テロ・武力攻撃」への区民認知度や対応能力テストの結果などが適切な指標である。
- 保護対策の中身・理解・普及の度合いなどを表す指標にすべきである。
- 協議会などの指標は回数でなく、出席率など別の指標にすると良い。また、パンフレットは作成冊数でなく、配布率などを設定すると良い。

#### 総合評価に関する指摘事項

- 安全なシステムを作っても、区民が安心と感じなければ効果はない。区民が理解できる仕組みを区民みんなで共有して安心できるようにしなければならない。

## 危機管理担当 分野全体に関する意見・感想

### ■ 事業の運営等に関して

- 災害発生 of 被害想定に基づいて、備蓄や防災訓練を行っているが、何を想定して準備しているのか、具体的な数字や範囲（国や都との業務分担を含めて）を示してほしい。
- 危機管理対象分野とされる「防犯」、「防災」、「保護」について、資源投入・配分の基準があるのかがわからない。
- 危機管理に関わる施策の総合調整、評価が行われているのか、行われているとした場合、各施策にどのように反映されているのかが見えない。効果的な総合調整、施策の評価が望まれる。

### ■ 評価シートの記載方法や評価の仕方について

- 事務事業を行った回数を指標とするのではなく、その事務事業で区民にとってどんな防災効果があったのかを指標としてほしい。
- 指標の精度は事業の中身がわかるような指標にしてもらいたい。原因は、担当課の職務の理解不足だと考えられる。改めて担当課で理解できるよう、研修等を行い、指標の精度を高めてほしい。
- 事業の対象と目標について、対象は誰か、区民をどのような状態にしたいかを目的にするように求めたにもかかわらず、行政の視点でこういう施策をすると書かれている事業が多く、再考を求めたい。
- 視点別の評価（担当者評価）のプロセスにおいて、評価項目（1）～（4）の評価結果と判断理由、事業の課題まで一貫しているか、レビューが必要である。その結果が総合評価の適切性、有効性、妥当性につながる。